学校番号	３２５

平成３１年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　新現代社会」　（帝国書院）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業中の説明や板書を記録し、復習できるよう取り組むこと。
時事問題等にも関心を持ち、学習内容との接続を意識して取り組むこと。

２　学習の到達目標

現在社会にあり方についての基本的な認識を深め、よりすみやすい社会にするためには、どのような施策が必要か、グローバルな視点から考えることができる能力を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の諸問題に対する関心を高め、現代社会の本質や特質を意欲的に追究し、望ましい社会の在り方や社会との関わり方について客観的に考察しようとしている。	現代社会の姿から課題を見出し、現代社会の本質や特質を多面的に考察し、望ましい現代社会の在り方や関わり方について、社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して効果的に活用している。	現代社会の諸課題について、各単元の本質を特質を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートの記述	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	第1編　私たちの生きる社会	第1章 地球環境問題	○	○	○		a 地球環境問題が社会生活に与える影響を理解する中で、環境問題への関心を高める。 b 持続可能な社会の形成のため，環境にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる c さまざまな立場･観点があることを整理し，議論や発表ができる	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果
		第2節 資源・エネルギー問題		○	○		b 資源・エネルギー問題について理解できる・資源・エネルギー問題にかかわる課題を考察することが出来る。 c さまざまな立場･観点があることを整理し，議論や発表ができる	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果
		第3節 生命をめぐる問題		○	○		b 生命科学やバイオテクノロジーがどのように進展したかを理解できる。 b 生命にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる c 人類の福祉の増進のため，科学技術をどのように活用していくべきかを考察し，科学技術の進歩が従来の倫理観にどのような影響を与えているか議論や発表ができる	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果

一学期	第1編　私たちの生きる社会	第4節 情報をめぐる問題		○	○		b インターネットや携帯電話の普及など，通信技術の進展とそれにともなう社会の急速な変化について理解できる b 高度情報化社会における情報にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる c 情報通信技術をどのように活用していくべきかを考察するとともに，人々の多様な価値観を背景に生じる衝突や対立，社会的な課題について整理し，議論や発表ができる	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果
二学期	第2編　現代社会と人間としてのあり方生き方	第1節 民主政治の基本原理				○	d 民主政治における国家と個人のあり方を知る。 d 民主政治のあゆみが理解できる。 d 民主政治が私たちの生活とかかわっており，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められる。	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果
		第2節 日本国憲法と基本的人権		○		○	b 国際情勢の変化にともない，日本の平和主義のあり方がどう変化していったのか考察できる。 b 日本の国際貢献のあり方について，意見を持ち，発表できる。 d 日本国憲法の三大原理の内容が理解できる。 d 日本国憲法で保障されている権利が理解でき，その権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ，その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できる。	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果

三学期	第２編　現代社会と人間としてのあり方生き方	第３節 日本の政治機構	○	○	○	○	a 行政機能が拡大している現状を理解し，その是非について主体的に考察できる。 b 日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できる。 c 住民投票など身近な地域で行われている例を調べ，報告できる。 d 地方自治の現状と課題が理解できる。	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果
		第４節 政治参加と民主政治の課題	○			○	a 選挙のしくみが理解でき，選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付くことができる。 d 政党の役割を理解し，各党の政策を知ることができる。 d 政党や選挙を身近に捉えることができる。	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。